



発展会計

決算診断  
改善ナビ

T H E M E

歯科経営

# 2024年 歯科医院 経営実績報告

C O N T E N T S

## I 2024年 経営実績とその傾向

1. 2024年経営実績の概要
2. 全体動向と利益の傾向
3. 医業収入の傾向
4. 医業費用の傾向

## II 2024年 収入上位診療所の経営実績

1. 収入上位診療所の経営実績の概要
2. 収入上位診療所の動向と利益の傾向
3. 医業収入の傾向
4. 医業費用の傾向

## III 2024年 収入ランク別経営実績

1. 収入ランク別経営実績の概要
2. 収入ランク別診療所経営実績分析結果

## IV 2024年 医療法人経営指標分析結果

1. 医療法人経営指標分析結果
2. 収益性分析結果
3. 生産性分析結果
4. 安全性分析結果
5. 成長性分析結果



## I 2024年 経営実績とその傾向

### 1 2024年経営実績の概要

本調査は2024年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、2023年の調査結果との比較を通して、経営状況の変化を分析しています。データについては、2024年に決算を終えた歯科診療所322件（医療法人100件、個人開業222件）から数値を抽出し、その平均値を算出しています。

なお、本分析では、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

#### ■2024年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2023年	2024年	前年対比
I 医業収入	64,825	68,251	105.3%
1.保険診療収入	53,400	54,668	102.4%
2.自由診療収入	11,706	13,200	112.8%
3.その他の医業収入	349	383	109.7%
II 変動費	12,433	12,791	102.9%
1.医薬・歯科材料費	6,093	6,251	102.6%
2.外注技工料	6,340	6,540	103.2%
III 限界利益	52,392	55,460	105.9%
IV 医業費用	32,173	34,271	106.5%
1.人件費	11,796	12,918	109.5%
2.減価償却費	5,065	5,028	99.3%
3.接待交際費	922	916	99.3%
4.研究研修費	334	326	97.6%
5.保険料	805	870	108.1%
6.消耗器具備品費	955	963	100.8%
7.その他経費	12,296	13,250	107.8%
V 医業利益	20,219	21,189	104.8%

## 2 全体動向と利益の傾向

### (1) 全体動向

2024年における歯科診療所の経営実績は、2023年と比較して増収増益となりました。

保険診療収入は2.4%、自由診療収入は12.8%の増加になっています。

特に自由診療が伸びた理由としては、う蝕患者の減少に伴い予防歯科や美容歯科（審美歯科）への取り組みが増加したことによるものと考えられます。

#### ■ 医業収入・費用等全体の傾向

##### ● 医業収入

医業収入は68,251千円で、3,426千円（対前年比5.3%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が1,268千円（同2.4%）、自由診療収入が1,494千円（同12.8%）、その他の医業収入が34千円（同9.7%）の増加となりました。

##### ● 変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は12,791千円で、358千円（対前年比2.9%）の増加となっています。

##### ● 医業費用

医業費用は34,271千円で、2,098千円（対前年比6.5%）の増加となっています。人件費（同9.5%）、消耗器具備品費（同0.8%）、保険料（同8.1%）、その他経費（同7.8%）は増加し、減価償却費（同△0.7%）、研究研修費（同△2.4%）、接待交際費（同△0.7%）は減少しています。

##### ● 医業利益

医業利益は21,189千円で、970千円（対前年比4.8%）の増加となっています。

### (2) 利益状況

限界利益、医業利益ともに増加し、限界利益が前年対比5.9%、医業利益は同4.8%増加という結果となりました。

#### ■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2023年	2024年	前年対比
限界利益	52,392	55,460	105.9%
医業利益	20,219	21,189	104.8%

### 3 医業収入の傾向

医業収入の実績は、以下のとおりです。

医業収入の合計では、対前年比 5.3%、保険診療収入が 2.4%、自由診療収入が 12.8%の増加、その他の医業収入が 9.7%の増加となっています。

#### ■ 医業収入

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
医業収入合計	64,825	68,251	105.3%
保険診療収入	53,400	54,668	102.4%
自由診療収入	11,706	13,200	112.8%
その他の医業収入	349	383	109.7%

#### ■ 医業収入分析

##### ● 医業収入

医業収入は 68,251 千円で 3,426 千円の増加となりました。内訳として、保険診療収入は 1,268 千円（対前年比 2.4%）、自由診療収入は 1,494 千円（同 12.8%）の増加となりました。

##### ● 総収入に占める自由診療収入の割合

2023年は 18.1%、2024年では 19.3%となっており、増加となっています。

### 4 医業費用の傾向

#### (1) 医業費用対前年比較

医業費用の実績は、以下のとおりです。

変動費は 2.9%、人件費は 9.5%、その他医業費用は 4.8%増加しました。なお、人件費には、役員報酬及び専従者給与は含まれておりません。それぞれ個別に集計し、参考データとして掲載しました。役員報酬の母数は 100 件、専従者給与の母数は 222 件です。

#### ① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
変動費合計	12,433	12,791	102.9%
変動費率	19.2%	18.7%	—
医薬・歯科材料費	6,093	6,251	102.6%
外注技工料	6,340	6,540	103.2%

歯科経営

②人件費

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
人件費合計	11,796	12,918	109.5%
(参考) 役員報酬	7,439	7,480	100.6%
(参考) 専従者給与	2,187	2,298	105.1%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
その他医業費用合計	20,377	21,353	104.8%
減価償却費	5,065	5,028	99.3%
接待交際費	922	916	99.3%
研究研修費	334	326	97.6%
保険料	805	870	108.1%
消耗器具備品費	955	963	100.8%
その他経費	12,296	13,250	107.8%

(2) 医業費用の傾向

●変動費

変動費は 12,791 千円で、358 千円増加しています。

医薬・歯科材料費は 158 千円、外注技工料は 200 千円増加しています。

●人件費

人件費は 12,918 千円で、1,122 千円の増加となりました。役員報酬は 2024 年平均で 7,480 千円、前年対比 100.6%の増加になっています。また、専従者給与の平均は 2,298 千円、前年対比 105.1%と増加となっています。

これらは昨年よりの政策誘導の結果が反映したものとと思われます。

●その他医業費用

その他医業費用は 21,353 千円で、976 千円の増加となりました。そのうち減価償却費が 37 千円減少しているため、実質的なその他医業費用は 1,013 千円の増加となっています。

## Ⅱ 2024年 収入上位診療所の経営実績

### 1 収入上位診療所の経営実績の概要

第1章での分析は歯科診療所 322 件（医療法人 100 件、個人開業 222 件）の決算書によるものでしたが、ここでは医業収入上位 20%の経営データを集計しました。

対象は 65 件で、その内訳は医療法人 45 件、個人開業 20 件となっています。なお本分析では人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

#### ■2024年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
I 医業収入	134,676	146,345	108.7%
1.保険診療収入	99,183	108,210	109.1%
2.自由診療収入	34,682	37,225	107.3%
3.その他の医業収入	811	910	112.2%
II 変動費	24,557	26,230	106.8%
1.医薬・歯科材料費	12,368	13,182	106.6%
2.外注技工料	12,189	13,048	107.0%
III 限界利益	110,119	120,115	109.1%
IV 医業費用	73,190	80,923	110.6%
1.人件費	32,820	37,063	112.9%
2.減価償却費	9,139	9,600	105.0%
3.接待交際費	1,800	1,952	108.4%
4.研究研修費	938	821	87.5%
5.保険料	2,200	2,503	113.8%
6.消耗器具備品費	2,932	3,068	104.6%
7.その他経費	23,361	25,916	110.9%
V 医業利益	36,929	39,192	106.1%

## 2 収入上位診療所の動向と利益の傾向

### (1) 経営動向と利益状況

2024年の収入上位歯科診療所の経営実績は、増収増益となりました。保険診療収入、自由診療収入ともに増加しています。

#### ■ 医業収入・費用等全体の状況

##### ● 医業収入

医業収入は146,345千円で、11,669千円（対前年比8.7%）の増加となっています。内訳をみると、保険診療収入が9,027千円（同9.1%）、自由診療収入は2,543千円（同7.3%）、その他の医業収入は99千円（同12.2%）の増加となりました。

##### ● 変動費

変動費（医薬歯科材料費・外注技工料等）は26,230千円で、1,673千円（対前年比6.8%）の増加となりました。

##### ● 医業費用

変動費以外の医業費用は80,923千円で、7,733千円（対前年比10.6%）の増加となりました。研究研修費が減少し、人件費、減価償却費、接待交際費、保険料、消耗器具備品費、その他経費が増加しています。

##### ● 医業利益

医業利益は39,192千円で、2,263千円（対前年比6.1%）の増加となりました。

### (2) 利益動向

限界利益が9,996千円の増加で、医業利益が2,263千円の増加となりました。

限界利益が対前年比9.1%、医業利益は同6.1%増加という結果となっています。

#### ■ 限界利益・医業利益

（単位：千円）

	2023年	2024年	前年対比
限界利益	110,119	120,115	109.1%
医業利益	36,929	39,192	106.1%

### 3 医業収入の傾向

収入上位診療所の医業収入の実績は以下のとおりです。

合計値を見ると、対前年比 108.7%となっており、保険診療収入、自由診療収入、その他の医業収入いずれも伸びを示しています。

#### (1) 医業収入 対前年比較

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
医業収入合計	134,676	146,345	108.7%
保険診療収入	99,183	108,210	109.1%
自由診療収入	34,682	37,225	107.3%
その他の医業収入	811	910	112.2%

#### (2) 医業収入分析結果

##### ● 医業収入

医業収入は 146,345 千円で、11,669 千円（対前年比 108.7%）の増加となりました。保険診療収入が 9,027 千円（同 109.1%）、自由診療収入が 2,543 千円（同 107.3%）、その他の医業収入が 99 千円（同 112.2%）増加しています。

### 4 医業費用の傾向

#### (1) 医業費用対前年比較

医業費用では、変動費は 6.8%、人件費 12.9%増加しており、その他医業費用の合計としては 8.6%増加しています。なお、人件費の取り扱いは前述の通りで、役員報酬の母数は 45 件、専従者給与の母数は 20 件となります。

##### ① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
変動費合計	24,557	26,230	106.8%
変動比率	18.2%	17.9%	—
医薬・歯科材料費	12,368	13,182	106.6%
外注技工料	12,189	13,048	107.0%

②人件費

(単位：千円)

	2023年	2024年	年対比
人件費	32,820	37,063	112.9%
(参考) 役員報酬	20,169	20,364	101.0%
(参考) 専従者給与	1,705	2,290	134.3%

③その他医業費用

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
その他医業費用合計	40,370	43,860	108.6%
減価償却費	9,139	9,600	105.0%
接待交際費	1,800	1,952	108.4%
研究研修費	938	821	87.5%
保険料	2,200	2,503	113.8%
消耗器具備品費	2,932	3,068	104.6%
その他経費	23,361	25,916	110.9%

(2) 医業費用分析結果

●変動費

変動費は 26,230 千円で、1,673 千円（対前年比 6.8%）の増加となっています。

●人件費

人件費は 37,063 千円で、4,243 千円（対前年比 12.9%）の増加となっています。役員報酬は 2024 年平均で 20,364 千円、前年対比 1.0%の増加となっています。

政策誘導等によりスタッフの最低賃金が上昇した分、役員報酬は抑え気味になったことが考えられます。

●その他医業費用（人件費以外の医業経費）

その他医業費用は 43,860 千円で、3,490 千円（対前年比 8.6%）の増加となっています。

様々な物価上昇からの影響が出ていると思われます。

### Ⅲ 2024年 収入ランク別経営実績

#### 1 収入ランク別経営実績の概要

本分析で抽出したデータは、2024年に決算を終えた歯科診療所 322 件（医療法人 100 件、個人開業 222 件）より、医業収入が年間5千万円未満、5千万円以上1億円未満、1億円以上の3区分で、分析を行いました。第2章のデータ同様、個人開業に統合したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

##### ■各データのサンプル数

- 5千万円未満 143 件（医療法人 17 件 個人開業 126 件）
- 5千万円以上 1 億円未満 121 件（医療法人 43 件 個人開業 78 件）
- 1 億円以上 58 件（医療法人 40 件 個人開業 18 件）

医業収入別の個別データは、次ページ以降に掲載しています。収入ランク別に集計した主要データは、以下のとおりです。

##### ■2024年 収入ランク別主要データ

（単位：千円）

医業収入 ランク	5千万円未満 平均	5千万円以上～ 1億円未満平均	1億円以上 平均
医業収入	31,649	69,387	152,332
変動費	6,167	13,582	27,417
限界利益	25,482	55,805	124,915
人件費	5,344	13,313	39,746
その他医業費用	9,855	22,803	45,569
医業利益	10,283	19,689	39,600

## 2 収入ランク別診療所経営実績分析結果

### (1) 医業収入5千万円未満の診療所の平均データ

医業収入5千万円未満診療所の歯科診療所は、増収増益となりました。医業収入は558千円（対前年比1.8%）、医業利益は93千円（同0.9%）の微増となりました。

物価上昇に伴い、医療原価の価格上昇があったにもかかわらず、経費削減等への取り組みが反映した結果だと思われます。

#### ■2024年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	2023年	2024年	前年対比
I 医業収入	31,091	31,649	101.8%
1.保険診療収入	28,260	28,611	101.2%
2.自由診療収入	2,680	2,879	107.4%
3.その他の医業収入	151	159	105.3%
II 変動費	6,114	6,167	100.9%
1.医薬・歯科材料費	3,101	2,997	96.6%
2.外注技工料	3,013	3,170	105.2%
III 限界利益	24,977	25,482	102.0%
IV 医業費用	14,787	15,199	102.8%
1.人件費	5,256	5,344	101.7%
2.減価償却費	2,469	2,498	101.2%
3.接待交際費	396	502	126.8%
4.研究研修費	159	141	88.7%
5.保険料	220	228	103.6%
6.消耗器具備品費	270	278	103.0%
7.その他経費	6,017	6,208	103.2%
V 医業利益	10,190	10,283	100.9%

n=145件（医療法人 20件 個人開業 125件）

(2) 医業収入5千万円以上～1億円未満の診療所の平均データ

医業収入5千万円以上～1億円未満の歯科診療所は増収減益となりました。

医業収入は1,960千円(対前年比2.9%)の増加でしたが、医業利益は、△449千円(同△2.2%)の減少となりました。

政策誘導等による人件費の増加、特に歯科衛生士不足からの給与上昇の影響もあったと思われます。

■2024年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
I 医業収入	67,427	69,387	102.9%
1.保険診療収入	56,775	57,904	102.0%
2.自由診療収入	10,345	11,218	108.4%
3.その他の医業収入	307	265	86.3%
II 変動費	13,514	13,582	100.5%
1.医薬・歯科材料費	6,805	6,680	98.2%
2.外注技工料	6,709	6,902	102.9%
III 限界利益	53,913	55,805	103.5%
IV 医業費用	33,775	36,116	106.9%
1.人件費	10,970	13,313	121.4%
2.減価償却費	5,690	5,395	94.8%
3.接待交際費	822	1,014	123.4%
4.研究研修費	322	331	102.8%
5.保険料	986	884	89.7%
6.消耗器具備品費	1,036	984	95.0%
7.その他の経費	13,949	14,195	101.8%
V 医業利益	20,138	19,689	97.8%

n=119件(医療法人 42件 個人開業 77件)

(3) 医業収入1億円以上の診療所の平均データ

医業収入1億円以上の歯科診療所は、増収増益の結果となりました。医業収入は、12,496千円（対前年比8.9%）、医業利益は2,485千円（同6.7%）の増加となりました。

上記同様の理由による人件費アップはありましたが、医業収入の増加、特に自由診療への取り組みにより医業利益も増加したと思われます。

■2024年 比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	2023年	2024年	前年対比
I 医業収入	139,836	152,332	108.9%
1.保険診療収入	101,479	111,101	109.5%
2.自由診療収入	37,499	40,256	107.4%
3.その他の医業収入	858	975	113.6%
II 変動費	25,709	27,417	106.6%
1.医薬・歯科材料費	12,874	13,628	105.9%
2.外注技工料	12,835	13,789	107.4%
III 限界利益	114,127	124,915	109.5%
IV 医業費用	77,012	85,315	110.8%
1.人件費	35,026	39,746	113.5%
2.減価償却費	9,743	10,121	103.9%
3.接待交際費	1,399	1,782	127.4%
4.研究研修費	1,004	895	89.1%
5.保険料	2,255	2,563	113.7%
6.消耗器具備品費	2,996	3,087	103.0%
7.その他経費	24,589	27,121	110.3%
V 医業利益	37,115	39,600	106.7%

n=42件（医療法人 29件 個人開業 13件）

## IV 2024年 医療法人経営指標分析結果

### 1 医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人歯科診療所 100 件の貸借対照表の数値から経営指標を算出し、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で分析を行いました。第3章までの分析は、医療法人・個人開業のデータを合算していましたが、経営指標分析においては医療法人歯科診療所のみを対象としています。

#### ■2024年 比較貸借対照表 医療法人

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2023年	2024年		2023年	2024年
【流動資産】	52,371	53,049	【流動負債】	9,720	10,434
現金・預金	30,821	30,503	買掛金	1,375	1,511
医業未収金	11,163	11,902	その他	8,345	8,923
その他	10,387	10,644			
【固定資産】	43,133	45,684	【固定負債】	39,854	37,265
有形固定資産	24,167	24,880	長期借入金	32,604	29,609
無形固定資産	2,995	3,451	その他	7,250	7,656
その他の資産	15,971	17,353			
			負債合計	49,574	47,699
			純資産の部		
				2023年	2024年
			【出資金】	6,638	6,696
			【前期繰越利益】	38,102	41,907
			【当期純利益】	1,190	2,431
			純資産合計	45,930	51,034
資産合計	95,504	98,733	負債・純資産合計	95,504	98,733

#### ■2024年 比較損益計算書 医療法人無床診療所平均

経営分析に必要となる主要損益数値は、次のとおりです。役員及び職員数についてはその平均値から、役員3名および職員8名の計11名で計算しています。

歯科経営

■ 医業収入

(単位：千円)

	2023年	2024年	前年対比
医業収入計	100,567	104,463	103.9%
限界利益	82,142	85,539	104.1%
給与費計	45,307	47,335	104.5%
医業利益	3,552	3,857	108.6%
経常利益	6,827	7,007	102.6%

2 収益性分析結果

		2023年	2024年	差異
収益性	総資本経常利益率	7.1%	7.1%	0.0%
	医業収入医業利益率	3.5%	3.7%	0.2%
	医業収入経常利益率	6.8%	6.7%	△0.1%
	総資本回転率	1.05回	1.06回	0.01回

■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

■ 収益性分析コメント

● 利益率

総資本経常利益率は 7.1% で、対前年比同率、医業収入医業利益率は 3.7% で対前年対比は 0.2% 増加し、医業収入経常利益率は 6.7% で、前年に比べ 0.1% 減少しました。

● 総資本回転率

総資本回転率は 1.06 回で、対前年比 0.01 回増加という結果となりました。

### 3 生産性分析結果

		2023年	2024年	差異
生産性	限界利益率	81.7%	81.9%	0.2%
	1人当たり医業収入/月	762千円	791千円	29千円
	1人当たり限界利益/月	622千円	648千円	26千円
	1人当たり人件費/月	343千円	358千円	15千円
	労働分配率	55.2%	55.3%	0.1%

#### ■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	$\text{限界利益} \div \text{医業収入} \times 100 (\%)$
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	$(\text{医業収入} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	$(\text{限界利益} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	$(\text{総額人件費} \div \text{従業員数}) \div 12 \text{ヶ月}$
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	$\text{総額人件費} \div \text{限界利益} \times 100 (\%)$

#### ◆生産性分析コメント

- 限界利益率・・・2024年は 81.9%で、対前年比 0.2%増加しました。
- 一人当たり医業収入・・・2024年は 791千円で、対前年比 29千円増加しました。
- 一人当たり限界利益・・・2024年は 648千円で、対前年比 26千円増加しました。
- 一人当たり人件費・・・2024年は 358千円で、対前年比 15千円増加しました。
- 労働分配率・・・2024年は 55.3%で、対前年比 0.1%増加しました。

4 安全性分析結果

		2023年	2024年	差異
安全性	流動比率	538.8%	508.4%	△30.4%
	当座比率	431.9%	406.4%	△25.5%
	固定比率	93.9%	89.5%	△4.4%
	固定長期適合率	50.3%	51.7%	1.4%
	自己資本率	48.1%	51.7%	3.6%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100 (%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 固定負債) × 100 (%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本（純資産）の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100 (%)

■安全性分析コメント

2024年の指標では、流動比率は508.4%となっており、短期的な債務返済能力は高い水準にあり、また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。  
自己資本比率も他業種と比較して高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。

## 5 成長性分析結果

		2023年	2024年
成長性	医業収入増加率	2.3%	3.9%
	限界利益増加率	2.3%	4.1%
	医業利益増加率	0.3%	0.3%
	経常利益増加率	5.7%	2.6%

## ■成長性分析コメント

2024年の経営実績は、医業収入の増加により限界利益、医業利益、経常利益も増加する結果となりました。

2024年は、年末にコロナウイルス感染症とインフルエンザ感染が広がり、受診を控える患者もいましたが、全体的には患者数は回復してきました。

一方、人件費はアップしましたが、自由診療や予防歯科、訪問診療への取り組み等、幅広い診療を行うことで、微増ではあるものの、収益改善の結果も現れています。